

# 平和のメッセージ

広報なると7月号で募集した皆さんからお寄せいただいたメッセージを紹介します。

※原文のまま掲載しています。

こないだ、ぼくのクラスで  
事けんがおこった。友だちが  
かいた絵がだれかにぐちゃぐ  
ちゃにされた。ぼくがされた  
ら、いやな気持ちになる。は  
ん人にやりかえしたら、はん  
人もきっとおこる。だから平  
和になってほしい。

(小学3年生・8歳)

一つの「地球」、一人の「わ  
たし」、一人の「だれか」、つな  
がる「空」は美しい、「だれか」の  
見上げた「空」はおそろしいかも  
しれない、「だれか」の見上げた  
「空」がきぼうになる、そんな「地  
球」を作るのは未来をたくされた  
「わたしたち」だ。

(小学4年生・10歳)

平和は理解と思いやりか  
ら生まれます。争いを乗り  
越え、共に手を取り合うこ  
とで心の調和と幸福が広が  
る未来を築けます。

(匿名)

戦争のない平和な世の中を  
望む。資源や土地の配分、考  
え方の違いといった理由で、  
人の命を奪うことが正当化さ  
れるはずはない。平和な社会  
を実現し、次世代に美しい地  
球を引き継いでいこう。

(吉永・24歳)

新型コロナの流行初期、目  
に見えない脅威を前に「普通  
の人」たちが他者を拒絶し、攻  
撃的になっていた。身の回り  
の状況がほんの少し変わるだ  
けで平和は簡単に失われてし  
まうことを実感した。他者を  
理解する心を大事にしたい。

(南浜・40歳)

戦争を経験していない世代  
が人口のほとんどを占めてい  
るが、先人が戦争によって経  
験された辛く苦しい体験を風  
化させず、後世に語り継ぎたい。

(南浜・36歳)

We are the world.

イマジン

人類はみな兄弟

世界は一つ 世界の愛

人類愛 世界の民主主義

(立岩・前期高齢者)

平和は大切ー。徳島中心部  
に大量の焼夷弾が落とされた  
徳島大空襲で、乳飲み子を背  
負ったまま水路で身を潜め、命  
辛々逃げきった祖母の生前の言  
葉だ。悲惨な戦争を体験した人  
の生声は尊く、この時期が来る  
と祖母の面影と共に思い出す。

(南浜・46歳)

軍備に頼らない平和の作り  
方を日本学術会議から発信  
して欲しかったです。しかし  
学術会議法が成立したので、  
それは難しくなっていました。  
平和を願う人達の  
叡智を集めて、提案してい  
きましょう。

(藍住町・62歳)

地元松茂町などで訓練し、  
お国のために美しく散った  
予科練様を思い平和を追求  
したいです。

(池谷・73歳)

平和というのは待っている  
だけではやって来ません、過  
去の悲惨さを後世に伝え二度  
と起こらない、起こさせない  
ように日々行動していくこと  
が大切ではないでしょうか。  
子どもたちの未来が平和であ  
ることを願って。

(徳島市・73歳)

昭和15年岡崎で生まれ、中学  
の時に徳島中学校に転校し、徳  
島空襲の話を知りました。映画  
で見た焼け野原と孤児達、二度  
としてはいけない戦争です。中学  
3年お別れの会で「ガード下の靴  
みがき」の唄を初めて歌い、世界  
平和を願って、機会があれば  
アカペラで70年間歌って来ました。

(斎田・85歳)

昭和9年生まれで鳴門市  
にご縁がございます。太平洋  
戦争終戦後、水野旅館でいて  
裏は砂浜の海岸で進駐軍(ア  
メリカ)が住んでいました。

(東みよし町・91歳)